

令和元年5月31日

大阪国際がんセンターの医療安全に係る監査委員会 実施報告

地方独立行政法人大阪府立病院機構
理事長 遠山 正彌 殿

大阪国際がんセンター
総長 松浦 成昭 殿

大阪国際がんセンターの医療安全に係る監査委員会
委員長 北村 温美

平成31年3月11日に実施した貴センターの医療安全に係る監査の結果を報告します。

1. 開催日時 平成31年3月11日(月) 15:00~17:30
2. 場 所 大阪国際がんセンター 6階 大会議室
3. 出席者 監査委員 北村 温美(委員長)
三浦 潤
三木 祥男
センター 松浦 成昭 総長
矢野 雅彦 医療安全管理部門長・副院長
小泉 素子 医療安全管理者・副看護部長
下辻 恒久 医療安全管理者・副薬局長
三ツ石 浩幸 事務局長
川畑 慶治 総務・人事グループリーダー

(庶務) 竹田 克己 総務・人事グループサブリーダー
初木 千歌 総務・人事グループ主任
岩途 貢 総務・人事グループ主事

4. 監査報告

今回は、医療安全に係る研修体制や、処方箋・検査画像の確認・手術器具の滅菌についての取り組みや課題への対応を中心に監査を実施した。

まず研修については、いずれの職種においても採用初日に医療安全の研修を設定しており、また多職種合同シミュレーションを行うなど、チーム医療における医療安全を重視しているセンターの意識の高さがうかがえた。eラーニングを導入し、必要な研修を確実に受けるよう促すシステムも評価される。

また、薬剤処方時に注意すべき項目の検査結果を処方箋に表示することや、手術予定患

者の抗血栓薬内服状況を入院前に確認すること、手術器具の滅菌管理システム等は、業務の効率化と安全性の向上につながる良い取り組みであり、高く評価される。

患者視点からの要望としては、相談支援センターに「医療安全に関する相談も受けています」ということを明示することで、医療安全向上のための意見を収集しやすくなるとともに、患者の安心感につながると考えられる。

監査を行った項目は下記のとおり

1. 大阪府がん診療連携拠点病院としての研修の役割について

評価 適正

2. 大阪国際がんセンターの新規職員、中途職員への研修について（全体計画）

評価 適正

① 多職種合同CPRシミュレーション

評価 適正

② eラーニング（バリテス）研修について

評価 適正

3. 医療安全に係る取り組み

評価 適正

① 多職種合同CPRシミュレーション

評価 適正

② イエローコールについて

評価 適正

③ 検査データを処方箋に記載

評価 適正

④ クイックイン外来

評価 適正

⑤ 検査画像の見落とし防止について

評価 適正

⑥ 滅菌管理システムの安全管理について

評価 適正

以上